株式会社早稲田大学アカデミックソリューション
Waseda University Academic Solutions Corporation

2026年度

大学業務ソリューションセミナー

知の力をつなぎ、
未来の社会をともに創る

大学・研究機関向け

日時
2026年12月18日（金）
9:30 - 15:30

方式
ハイフレックス形式
（ZOOM ウェビナーおよび対面）

対面会場
大隈スクエアビル3階会議室
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-12
早稲田大学アカデミックソリューション

会場参加は定員がございます。
定員に達し受付を終了いたしますので
お早めにお申し込みください。

2026年 12.18（金）

お申込み〆切
2026年12月14日(月)

参加費　無料

Webフォームより
お申し込みください

参加申込はこちら ▶▶▶

https://x.gd/6Pj55g

プログラム概要　Program & Lecture Overview

※プログラムは変更になる場合があります

9:30〜　開会あいさつ

講演1

9:30〜10:40

大学が必要とする研究支援とは何か
―”研究”に職員はどう関与するのが良いのか？

松木 則夫 様
香川大学
研究戦略室副室長
特命教授・シニアURA



競争的研究資金の獲得は、研究者だけに任せるには限界があります。それは研究プロジェクトが複雑化し、研究者だけでは対応できなくなっているからです。では、大学に求められている研究支援はどうあるべきなのでしょうか。
2025年頃より文科省は「研究開発マネジメント人材」という呼称を使い、大学経営層を支援する「研究経営を担う高度専門人材」の必要性を強調するようになりました。URAは第三の職種と云われながら、業務内容や求める能力についても、この10年の間で揺れ動いています。
本講演では、競争的研究資金の獲得を中心に、これまでの研究支援の経験に基づいてお話をいたします。研究支援人材の役割や能力を再考することを通じて、今後向き合うべき「大学における研究支援のあり方」を共に考えます。

講演2

10:50〜12:00

地域連携の新たなカタチ
地元企業×行政×大学×事業会社が共創するスポーツを通じたまちづくり
〜滋賀県・草津市を飛込競技の一大拠点へ〜

松原 修 様
立命館大学 学生部 担当次長
一般社団法人びわこウェルビーイングコミュニティ
理事・事務局長

佐城 健造 様
株式会社クレオテック 執行役員・経営企画室長
一般社団法人びわこウェルビーイングコミュニティ
理事

地元企業・行政・大学・事業会社が連携して、「滋賀県を飛込競技の一大拠点に」をスローガンに、大学と地域のリソースを活用した地域活性化とトップアスリート育成にかかる事例を紹介します。
持続可能な新しい社会共創モデルへと成長させるための端緒となる取り組みです。

12:00〜13:00　**情報交換会**　軽食をご用意します。ネットワーキングの場としてご活用ください。

講演3

13:10〜14:10

DXは、現場から。
一人ひとりのチャレンジを形にする、有志2名から組織へ広がったDXの実践

浅田 直哉 様
大阪経済大学
情報システム部DX・AI推進課
（事務DXチーム）

岩根 涼花 様
大阪経済大学
情報システム部DX・AI推進課
（事務DXチーム）





大阪経済大学では、2名の有志で始めた「事務DXチーム」を起点に、一人ひとりの「やってみよう」から変革を進めています。本学のDXは、当たり前を見つめ直し、今ある仕組みを最大限に活かすことを基本としています。遠い存在に感じがちなデジタルツールやAIを、実際の業務で使える形にする“翻訳家”として、各部署に駐在する「学内キャラバン」を通じて現場に入り、仲間としてチャレンジをともに実現してきました。こうした実践の積み重ねが、1年でDX・AI推進課の発足につながり、有志で始めた取り組みは、部署が担う正式な業務へと発展しました。これまでの固定観念にとらわれない「超現場主義」の実践と、その裏側をご紹介します。

講演4

14:20〜15:20

広告マンが語る研究広報
ーマーケティング思考で考える、広報の戦略と実践ー

舘 正一 様
関西大学
研究支援・社会連携グループ
上級リサーチ・コーディネーター（URA）



研究成果を社会に発信する。そのとき、私たちは誰に、何を、何のために届けようとしているのでしょうか。広告業界での経験と大学URAとしての実践をもとに、研究広報を戦略的に考える視点をご紹介します。理想どおりには進まない大学現場の実情も踏まえながら、日々の業務を少し違った視点で捉え、次の発信機会に生かすためのヒントをお伝えします。

15:20〜　閉会あいさつ

お問い合わせ先
株式会社早稲田大学アカデミックソリューション
業務支援室 経営企画チーム
info-marketing@w-as.jp

参加申込はこちら ▶